

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム清流

目標達成計画

作成日：令和 4年 3月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年2回の避難訓練や水害の机上訓練は行ったが、コロナ禍もあり、地域や消防団と連携しての訓練ができなかった。また、様々な災害毎のマニュアルができていない。災害時の持ち出し品がまとまっていない。	災害毎の問題点をスタッフで確認し、改善に努める。実際に災害が起こった時に備えて備品を誰でもわかるように準備しておく。	①災害毎の問題点をスタッフで話し合い、改善努める。実際に災害が起こった時に備えて備品を誰でもわかるように準備しておく。 ②災害時の持ち出し品を確認し、すぐに持ち出せる状態にしてスタッフに周知する。 ③地域の消防団と連携して避難訓練を行い、施設のことを知っていただく。	12ヶ月
2	19	コロナ禍で面会制限があり、本人様、家族様共に寂しい思いをさせてしまっている。電話等でお伝えすることもあるが、十分とは言えない。家族様との面会の機会も少なく、家族様の思いにも応えきれっているが難しい。	家族様に日頃の利用者の様子を知っていただき、共に支えていく。	①意見箱だけでなく、運営推進会議等でアンケートを実施する。 ②利用者様毎の担当者が定期的に日頃の様子を手紙でお知らせする。 ③日常の様子も写真に撮り、掲示する。	6ヶ月
3					12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。